

# 「ネイチャーポジティブ」時代の到来と、 滋賀の企業・ビジネス



日時 2023年

10月30日(月)

第1部&第2部・現地参加の方は  
12時00分 近江八幡駅 南出口  
集合

=== 4年ぶりに **バス企画** の開催です！ ===  
株式会社ダイフク 滋賀事業所(日に新館 他)にて、  
【第1部】環境省によるセミナー(オンライン併催)と、  
【第2部】(株)ダイフクの取組紹介と敷地内での  
フィールドワーク(敷地内生き物調査体験)を実施します。  
気候変動と並んで「世界の二大課題」と言われる  
「生物多様性保全」の必要に迫られる今、企業として出来る  
事は…ビジネスにどう繋げる事ができるのかを考えます。  
※(株)ダイフク滋賀事業所へは、参加者全員が JR 近江八幡駅から  
大型観光バスでの移動となります。(バス参加の方は保険に加入します。)

※お車で越しの場合は、近江八幡駅付近の駐車場をご利用ください。

2023年3月、「生物多様性国家戦略 2023-2030」が閣議決定されました。そしてそこでは、生物多様性の損失を止め、反転させる「ネイチャーポジティブ」の実現が掲げられました。そこでは、いったい何が決まったのでしょうか？ こうした動向は、滋賀の生物多様性保全にとっていったいどんな意味を持っているのでしょうか？・・・参加者のみなさんと共に学び、滋賀の生物多様性の未来について考えます。

【第1部】セミナー『新生物多様性国家戦略と滋賀の企業・ビジネス』 **定員** オンライン70名、バス参加30名

・基調講演：「生物多様性国家戦略 2023-2030 と事業者の方への期待

～ネイチャーポジティブの実現に向けて～

13:00～  
14:30

環境省 自然環境局 自然環境計画課 生物多様性戦略推進室 **福井 俊介 氏**

・ディスカッション：パネリスト 京都産業大学 西田 貴明 氏、(株)ダイフク 山本 剛広 氏 他

【第2部】現地視察『(株)ダイフク滋賀事業所の生物多様性保全の取組』

**定員** バス参加30名(先着順)

14:40～  
16:40

・株式会社ダイフク 生物多様性保全の取組紹介

・フィールドワーク(Biome アプリを使った自然いきもの調査)

※第1部オンライン参加者には 10/27(金)までに URL をメールでお送りします。

※第2部参加者は、JR 近江八幡駅での 12:00 集合となり、  
第1部は現地内セミナールームにて受講いただきます。

**参加費** SGN 会員・GP プラ滋賀登録者・学生：無料 /  
一般：オンラインのみ 1000 円・バス参加 2000 円

※会員企業・団体からは、何人参加されても無料です。

**主催** (一社)滋賀グリーン活動ネットワーク 生物多様性と環境・CSR 研究会  
**後援** 滋賀県・滋賀県地球温暖化防止活動推進センター



<第1部&第2部 現地参加 行程>

12:00 近江八幡駅 南出口 集合  
12:50 (株)ダイフク 到着  
13:00 第1部 環境省セミナー  
14:40 第2部 取組紹介と説明  
15:00 フィールドワーク  
16:00 ふりかえり  
16:40 (株)ダイフク 出発  
17:20 近江八幡駅 解散

**お申込み方法** 下記 URL または右上の二次元コードから、「申込フォーム」よりお申込みください。

※一般の方は、申込後、10/25(水)までに「参加費 1000 円または 2000 円」をお振込みください。

振込先：滋賀銀行 県庁支店 普通 506188 シヤ)シガグリーンカウドネットワーク

締切 10月25日(水)

<https://forms.gle/cjUexWzUegxA1bAW7>



セミナー申込み



福井 俊介 氏

## 《【第1部】講師紹介》

環境省 自然環境局 自然環境計画課

生物多様性戦略推進室 生物多様性保全係長

### 福井 俊介 (ふくい しゅんすけ) 氏

東京都出身。2018年環境省入省。

那覇、徳之島を経て、生物多様性戦略推進室で生物多様性国家戦略2023-2030の策定やNbSの推進に関わる。

## 《開催地紹介》

### 株式会社ダイフク 滋賀事業所

滋賀事業所は、敷地面積においては滋賀県内最大級の規模を誇ります。滋賀事業所内の生態系を調査したところ、1,000種以上の在来種のほか、日本レッドリスト（環境省作成・整備）や滋賀県レッドデータブックに記載されている70種以上の野生生物が確認されました。この貴重な自然環境を次世代に残すため、社内外とのコミュニケーションを促進する「結プロジェクト」を通じたさまざまな保全活動に取り組んでいます。

滋賀事業所敷地内に生息・生育する野生生物のうち、2020年版日本版レッドリストにおいて絶滅危惧種に指定されている野生生物は、ハヤブサ、ヤマトサンショウウオ、ハイタカ、オオタカ、ニホンイシガメなど22種にわたります。



## 《【第1部】パネリスト紹介》

京都産業大学 生命科学部 准教授

### 西田 貴明 (にしだ たかあき)氏

2009年4月より、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社、政策研究事業本部の研究員として、環境省をはじめとした官庁の様々な政策研究調査や民間企業の環境経営のコンサルティングに従事。2019年4月より、現職。グリーンインフラ官民連携プラットフォーム運営委員・企画広報部会長。



株式会社ダイフク  
サステナビリティ推進部 副部長

### 山本 剛広 (やまもと たけひろ)氏

2006年ダイフク入社 ISO推進部、生産技術部にてグループのISO認証取得・維持、環境経営企画推進に従事。2017年より広報部、サステナビリティ推進部 CSRグループ長。2023年4月より現職



### ◆ネイチャーポジティブ(自然再興)とは◆

「ネイチャーポジティブ(自然再興)」とは、生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せることを意味します。

2030年までに「ネイチャーポジティブ(自然再興)」を実現することが、2050年ビジョンの達成に向けた短期目標です。「2030年ネイチャーポジティブ(自然再興)」の実現に向けて、人類存続の基盤としての健全な生態系を確保し、生態系による恵みを維持し回復させ、自然資本を守り活かす社会経済活動を広げるために、これまでの生物多様性保全施策に加えて気候変動や資源循環等の様々な分野の施策と連携し取り組みます。(環境省HPより)

## What is BIOME?

いきものコレクションアプリ「Biome(バイオーム)」は、日本国内のほぼ全種(6万3635種)の動植物を収録した無料アプリです。最新の生物名前判定AIを備えているだけでなく、図鑑・地図・SNS・クエストなどいきものにまつわる様々な機能を備えています。

「Biome(バイオーム)」を運営する株式会社バイオームは、生物多様性の保全が人々の利益につながる社会をつくることをビジョンとしており、事業者向けに生物調査専用アプリ「BiomeSurvey」等の提供も行っています。

バイオームアプリのダウンロード→



問合せ先



一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク(SGN)事務局

〒520-0807 大津市松本 1-2-1 大津合同庁舎 6階

【TEL】077-510-3585 【FAX】077-510-3586

【Email】sgpn@oregano.ocn.ne.jp



SGN ホームページ